

90 式戦車 (陸幕)



陸上自衛隊の第3世代戦車として、技術研究本部が昭和52年に開発に着手して10年余をかけ完成させた。62年9月に2次試作車2両を領収、63年12月まで技本の各研究所で技術試験を続けたあと、平成元年1月に別の2次試作車2両を領収して、東方・北方・西方管内で実用試験を行った。平成元年12月15日、防衛庁装備審議会議で正式に陸上自衛隊の次期主力戦車として採用が決定、2年8月6日に「90式戦車」として制式化された。

[緒元・性能]

乗員	3人
全備重量	約50t
全長	9.80m
全幅	3.40m (スカート付)
全高	2.30m (標準姿勢)
登坂能力	$\tan \theta$ 約60%
旋回性能	超信地
最高速度	70km/h
エンジン	空冷2サイクル10気筒 ディーゼル機関
武装	120mm 滑膛砲×1 12.7mm 銃機関銃 M2×1 74式車載7.62mm 機関銃×1

金額	: 12両 87億円 (平成18年度発注)
開発	: 防衛庁技術研究本部
製作	: 三菱重工業株式会社 (砲塔・車体) 株式会社日本製鋼所 (120mm 砲)